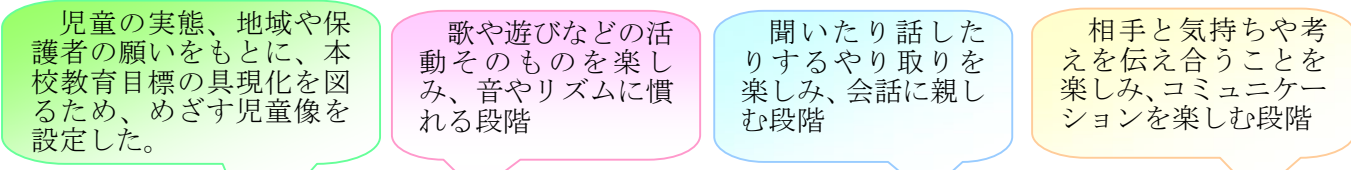


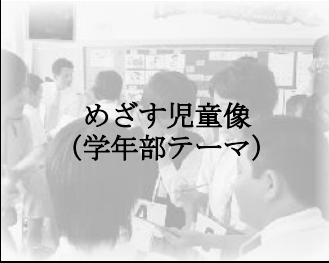
1 年間及び単元指導計画の工夫

(1) めざす子どもの姿を明確にした学年部テーマの設定

英語活動と学校教育目標がどのように関わり、どんな子どもの姿をめざし、子どもたちにどんな力を付けたいのかを明らかにし、全職員の共通理解を図った。

- ① 英語活動のねらいを明らかにする。
英語によるコミュニケーションに慣れ親しみ、楽しく進んで活動する子どもをめざし、低・中・高学年で学年部テーマを設定した。
- ② 子どもたちにどんな力を付けたいのかを明らかにする。
学年部テーマを受け評価の観点ごとにめざす子どもの姿を具体的にイメージし、評価規準として位置付けた。さらに、単元全体を通して3観点が網羅できるように指導計画に明示した。



		低学年	中学年	高学年
 <p>めざす児童像 (学年部テーマ)</p>		<p>慣れる</p>	<p>親しむ</p>	<p>進んで</p>
		英語の歌やゲーム等の活動を通して、英語の音声やリズムに慣れ、みんなと楽しく活動する子ども	身近な英語に触れる活動を通して、言葉やジェスチャーを使ったやり取りを楽しみながら、興味を持って活動する子ども	学習した英語を使って、コミュニケーションを楽しみながら、進んで活動する子ども
観 点	英語活動に対する 関心・意欲・態度	歌やゲームなどの活動を楽しんでいる。	身近な英語に触れながら、楽しく活動している。	英語を使って、進んで活動している。
	コミュニケーションの力 (聞くこと・話すことに関わる力)	○相手を見ながら聞いている。 ○体を動かしながら歌ったり、まねたりしている。	○相手に関心を持ちながら聞いている。 ○英語やジェスチャーを使って、活動している。	○相手のことを分かるようとして聞いている。 ○英語やジェスチャーを使って相手と関わっている。
	異文化の理解・尊重	○外国のこと(言葉・生活・文化)に興味を持っている。	○外国のこと(言葉・生活・文化)に興味を持ち、日本と外国の文化の違いに気付いている。	○外国のこと(言葉・生活・文化)に興味を持ち、自他の文化を尊重している。

コミュニケーションへの関心・意欲・態度の育成を重視することから上記の3点を評価の観点とした。(先進校での実践や図書資料を参考にしながら3観点を設定したが、今後は新学習指導要領が告示され、外国語活動の目標が示されているので、目標の3つの柱を踏まえて設定するとよい。)

(2) 学年の発達に応じた指導計画

学年部テーマ、評価規準をもとに年間指導計画を作成した。1、2年生は余剰時間で年間10時間(月1時間)、3年生以上は「総合的な学習の時間」の中で年間35時間(週1時間)を英語活動の時間とした。

〈活動テーマの設定〉

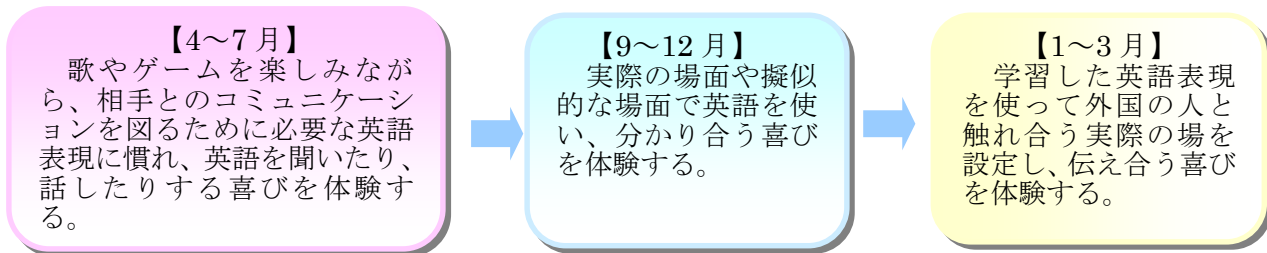
場面や状況を中心に活動テーマを設定し、低・中・高で系統的な視点を図るようにした。

低学年：身の回りのこと

中学年：学校生活や友達のこと

高学年：社会や世界との関わりや現実のコミュニケーションを意識した活動

上記の視点をもとに基本的な活動や体験のねらいを以下のように設定し、1単元を3～4時間で構成した。



さらに発達段階に合わせて基本となる表現や語句について前学年で活動した内容を生かすなど系統性を図ることができるように、全学年で月ごとに同じテーマを設定した。また、スパイラルで扱うことで、無理なく慣れ親しむことができ、教材・教具の共有化も図れるようにした。

【年間指導計画】

		4月	5月	9月	12月	1月	2月	3月	時 数
テーマ		あいさつしよう	きいてみよう	作ってみよう	外国文化や行事	国際交流会を成功させよう	スピーチしよう		
ねらい		いろいろな相手とあいさつしたり、触れ合ったりすることと人の関わりを味わわせる。	いろいろな質問の仕方、答え方を知ることにより、会話の幅を広げる。	英語で指示されたことを実際にやってみたり、学習したことを使ってやり方を伝えたりする活動を通して、積極的に聞いた話したりする態度を育てる。	外国の料理、遊び、歌、行事等について話を聞いたり、異文化理解を深める体験的な活動を通したりして、互いの違いや共通点に気づき、共感的に受け止める態度を育てる。	外国の人と触れ合う場、異文化体験の場として国際交流会を行い、楽しみながらコミュニケーションの力を育む。	外国の人と触れ合う場、異文化体験の場として国際交流会を行い、楽しみながらコミュニケーションの力を育む。	学習したことを使ってコミュニケーションを楽しむ態度を育てる。	
1年	身の回りのこと		① あいさつ	① パフェを作ろう	① クリスマスを楽しもう	② 外国の人とかなろう		① 英語で遊ぼう	10
2年			① あいさつしよう	① 野菜サラダを作ろう	① クリスマスを楽しもう(トナカイの顔作り)	① 外国の人と一緒に遊ぼう		① 英語で言えるようになったよ	10
3年	学校生活や友達のこと	② はじめまして、仲よくなる	④ 気分はどう?	③ 動物園を作ろう	③ 形で遊ぼうクリスマス	⑥ 外国の人とかなろう		③ 自己紹介をします	35
4年		② はじめまして	④ 君は何が好き?	③ ピザを作ろう	③ Christmas Cardを送ろう!	⑥ 日本の遊びを紹介しよう		③ 自己紹介をしよう	35
5年	社会や世界との関わり	② 君のことで教えて	④ 尋ねてみよう	③ 寿司屋へ行こう	③ 外国から入ってきた言葉	⑥ クイズ大会で交流しよう		③ レストランで食事をしよう	35
6年		② 季節は?	④ できることは?	③ シャボン玉を作ろう	③ 私の行ってみたい国	⑥ 日本の伝統・文化を紹介しよう		③ 将来の夢を紹介しよう	35

※ 6月：好きなもの、7月：紹介しよう、10月：買い物しよう、11月：案内しよう

(3) 単元計画

① 学習過程の工夫

上記のような月ごとのテーマに沿って次のような学習過程を組み、単元を構成していった。

やってみよう	わかった	できた	知りたい・伝えたい
英語に出会う、文化に触れる時間	英語に慣れる、聞き慣れる時間	人に触れる、言い慣れる時間	使ってみる、コミュニケーションを楽しむ時間
活動のゴールを示し、単元の目標をもたせる。 <ゴールの明確化>	聞いたり話したりするコミュニケーション活動を充実させる。	前時までに学習した表現を活用してコミュニケーション活動を充実させる。	実際の場面で使ったり、擬似体験したりする活動を通して、伝え合う喜びを体験できるようにする。 <意味のあるコミュニケーション活動>
	<コミュニケーションのためのスキル>		

② 単元構成の実際

6年：私の行ってみたい国（4時間取り扱い）

過程	時	ねらい	学習活動	主な言語材料
やってみよう	1	世界の色々な国の位置や国旗を知り、国名に慣れる。	① 国旗の説明を聞き、国旗当てゲームをする。(英語ノート P37) ② 学習のゴールを確認し、見通しとめあてをもつ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; font-weight: bold;">おすすめ旅行プランを紹介しよう!</div> ③ 紹介のために必要な表現を考える。 ④ 国名の言い方を練習する。 ⑤ 行きたい国を尋ねたり、答えたりする表現を練習する。 ⑥ カルタ取りゲームをしながら、会話に慣れる。	・ France ・ Italy ・ Australia ・ China ・ Korea ・ America ・ Brazil ・ Canada ・ Germany A: Where do you want to go? B: I want to go to~
		単元全体を通してのゴールを示し、一人ひとりに活動のめあてと見通しをもたせることで意欲が高まり、目的意識、相手意識をもって活動することができた。		
わかった	2	3 ヒントゲームを楽しみながら、各国の有名なもの(名所・食べ物)について知る。	① チャンツの内容を理解して歌う。(英語ノート P37) ② 各国の有名なもの(名所、食べ物)について知り、言い方を練習する。(英語ノート p42,43) ③ 3 ヒント「どこの国？」ゲームをする。 ・ ALT のヒントを聞いて、どこの国か当てる。 ・ 問題を出し合う。	① I want to see the Statue of Liberty.(自由の女神) ② I want to eat hamburger. ③ Red, blue, and white
		形態を変えた会話やゲームを工夫することで、飽きずに聞いたり、繰り返し発話したりすることができた。		
できた	3	自分が行ってみたい国について調べ、紹介の準備をする。	① 紹介の仕方を確認する。 ② おすすめの国について3つのポイントで調べる。 ③ 紹介メモに調べたことを記入する。 ④ おすすめ旅行プランの紹介の練習をする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">チャンツやピクチャーカードを効果的に活用することで、発話がスムーズにできるようになった。</div>	I want to go to Italy. I want to eat pizza. I want to see 真実の口。 I want to play soccer. Let's go to Italy.
知りたい・伝えたい	4	おすすめの旅行プランを紹介したり、聞きながらコミュニケーションを楽しむ。	① 行きたい理由を聞いたり答えたりする言い方を知り、練習する。 ② ブースごとにおすすめ旅行プランの紹介をする。 ③ それぞれのブースの感想を出し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">子どもたちが本当に知りたい、伝えたいことをクイズやゲームにすることで、友達の新しい発見ができた。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">反応や相づち、あいさつ等の表現も学年に応じて段階的に取り入れることで、相手を意識した会話ができるようになった。</div>	A: Where do you want to go? B: I want to go to China. A: Why? B: Because I want to see the Great Wall B: Let's go to China. A: Sure! (OK, No thank you.)